

全行程:約13km 所要時間:約3~4時間(徒歩)

JR奈良駅

↓1.2km
20分 ↑

JR加茂駅

↓0.1km
2分 ↑

12 佐保川橋脚跡
佐保川に架かる下長慶橋付近の川底に残る、レンガ製橋脚の基底部です。

↓20m
1分 ↑

11 大仏鉄道記念公園

大仏駅の跡地に、奈良市と地元自治会の協力で、平成4年に造られた公園です。

↓1.6km
25分 ↑

10 黒髪山トンネル跡

昭和41年頃まで残っていた、大仏鉄道唯一のトンネル。道路拡張で取り壊されて現在の姿に。

↓1km
15分 ↑

9 鹿川隧道

農業用水路の目的で造られた石積みの隧道。現在も利用されています。

↓1.6km
20分 ↑

8 松谷川隧道

レンガ造りの隧道。色の違うレンガが交互に配置されています。

↓1.2km
20分 ↑

7 井関川橋梁跡

構造物の詳細は不明。南北に走る道に、当時の軌道の雰囲気が残っています。

↓1.1km
20分 ↑

1 ランプ小屋

赤レンガ造り、切り妻屋根のランプ小屋。加茂駅の開業時に建てられました。

↓0.4km
5分 ↑

2 C57SL展示

「貴婦人」の名で親しまれた昭和12年製の機関車。関西本線を走っていました。

↓2.2km
35分 ↑

3 観音寺橋台

石積みの橋台(手前)。現在利用されている関西本線の橋台と並び位置しています。

↓1.1km
15分 ↑

4 鹿背山橋台

石積みの橋台。堅固な構えに魅了される人も多く、遺構の中でも人気のスポットです。

↓1.1km
15分 ↑

5 梶ヶ谷隧道

アーチ部分はレンガ造り、下部は石積みの隧道です。内部を歩くことができます。

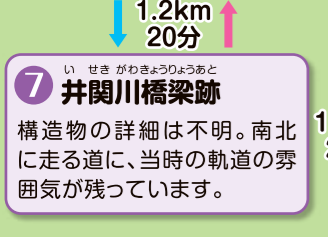
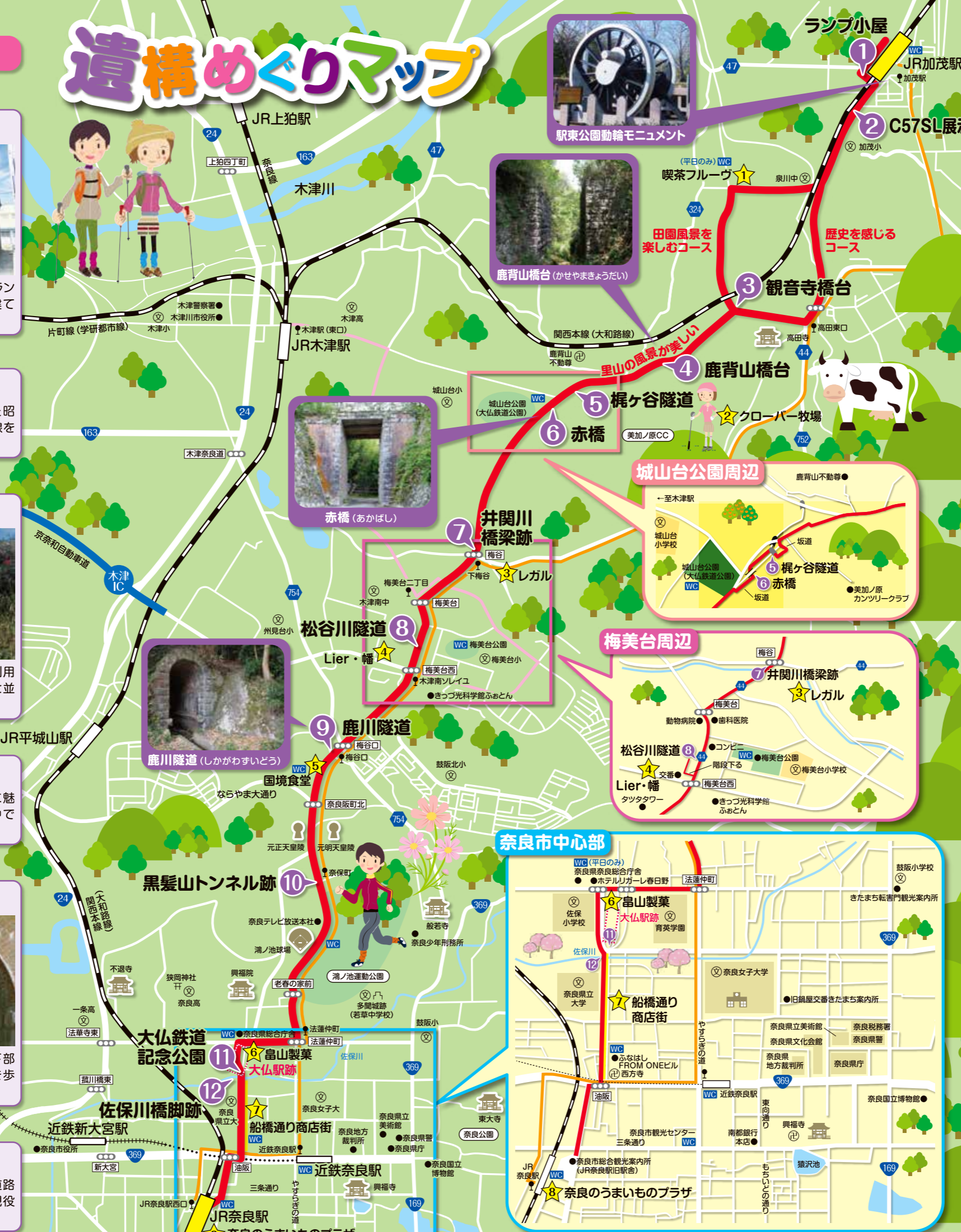
↓0.3km
5分 ↑

6 赤橋

レンガ造りの橋台。生活道路として使用されており、現役で活躍しています。

↓0.3km
5分 ↑

遺構めぐりマップ



沿線 花だより

大仏鉄道遺構めぐりのルート沿いには、四季折々の花が咲きます。季節ごとの風景をお楽しみください。

春 シダレザクラ
見ごろ 4月上旬
春、大仏鉄道記念公園はシダレザクラで覆われます。すぐ近くを流れる佐保川沿いは桜並木になっており、名所として知られています。

セイヨウカラシナ
見ごろ 3月~4月
春には、泉川中学校付近を流れる赤田川の土手などで、黄色い花を咲かせます。アプラナによく似ていますが、花のつき方や大きさ、葉の形などに違いがあります。

ミツバツツジ
見ごろ 4月~5月
花が咲き終わると、枝先に3枚の葉がつくことから、この名がつけられました。鹿背山橋台付近や梶ヶ谷隧道付近などで見られます。秋になると葉が美しく色づきます。

ノアザミ
見ごろ 5月~8月
田畑の畦などに咲く紫色の花。葉にはトゲがあり、刺草(しそう)とも呼ばれます。ノアザミは他のアザミと異なり、春から夏に掛けて咲きます。

ゲンノショウコ
見ごろ 7月~10月
日当たりのよい道端などに咲きます。古くから薬草として用いられ、その効き目から「現の証拠」の名がつけました。

ヒガンバナ
見ごろ 9月中旬~10月
田の畦などに咲くヒガンバナは、花が枯れた後に葉が出ます。このことから、「葉見ず花見す」とも呼ばれています。

コスモス
見ごろ 10月~11月
今では畑地などで見かけるコスモスですが、日本には明治時代に入ってきました。別名をオオハルシャギクといいます。

柿
見ごろ 10月~11月
鹿背山地区は大正時代から続く富有柿の産地です。周辺には柿畑が点在し、秋には出荷作業でにぎわいます。

ヤブツバキ
見ごろ 2月~3月
観音寺橋台付近などで見られ、日本書紀や万葉集にも登場するなど、古くから親しまれてきました。寒空の廃線跡に、可憐な赤い花が温かみを添えます。

梅
見ごろ 2月~3月
梅美台公園には、白梅・紅梅・蝶梅が植えられています。春告草(はるつけくさ)や風待草(かぜまちくさ)とも呼ばれ、春風の冷たさを和らげてくれます。

